

## 清澄庭園観察会

1月21日（土） 10：30～12：00

参加者 大人19名 子ども3名

1月21日（土）、前日の荒天が嘘のように暖かい陽射しのもとで観察会を行いました。まず、大正記念館の集会室で、清澄庭園の歴史について説明していただきました。この庭園は回遊式庭園。三菱財閥の岩崎弥太郎が接客のために作ったもののようです。ジョサイア・コンドル設計の洋館があったのですが、関東大震災などで焼失してしまったそうです。昔の写真も見せていただいて、今の様子と比べてみました。

二つのグループに分かれてガイドしていただくことにして、美しい庭に降りました。国中から集められたような石が処々に置かれています。昔の大名たちや財閥の要人達もこの庭を逍遥したのでしょうか。ちょっと昔の貴婦人になった気分です。

池にはカモたちがいっぱいいて、出迎えてくれました、キンクロハジロ、ホシハジロが群れています。その中に一羽だけ、ウがいます。このウ、最初から、庭を一周して戻ってくるまでずっと同じ格好で石の上でじっとしていました。日向ぼっこをしていたのかな。また、さーっと池に降りてきた大きな鳥もいます、アオサギでした。いろんな鳥に出会えましたが、池のまわりを歩き、反対側に行くとそこには全然いません。そちら側は陽が射さず、風も冷たく感じました。鳥たちもやっぱり暖かいところを選んで群れていたのです、お日様の力は大きいですね！

今日は素晴らしい池泉回遊式庭園で、鳥たちもいっぱいいて楽しい時間を過ごせました。ガイドをしてくださった田和さん、深串さん、小林さん（清澄庭園ガイド）、ありがとうございました。

（文責：小川真理子）

雪吊り、コモ巻き、ワラボッチなど冬の装いの清澄庭園を訪れました。比較的花の少ない季節ですが、それでもツバキやニホンスイセンが咲き誇り、水辺ではツワブキが黄色いキクに似た小さな花を咲かせていました。またミツマタが白い小さな蕾をたくさんつけているのが印象的でした。春に向け生命の鼓動も感じられた散策でした。

（文責：井上正太）

